

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	① (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	汚染水貯蔵タンク水位の遠隔監視装置
御提案者	有限会社インターフェース 秋山 公彦
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>1-1. 特徴</p> <p>汚染水貯蔵タンクに取り付けられたフロートスイッチ及びパルス式レベルセンサの信号をFOMA対応無線機に繋ぐことにより、メールでデータ収集ができる。</p> <p>1-2. 仕様 (詳細は添付タンク水位遠隔監視装置 (IF-3C000124) 参照)</p> <p>(1) 電源 : AC100V20W (2) 入力 : 10 点 (3) 出力 : 2c リレー接点 (4) アナログ入力 : 4~20mA/1~5V 4 点 (5) 登録メールアドレス : 10 点 (6) レベルセンサ検出範囲 : 200~2,000mm (7) レベルセンサ分解能 : 1mm (8) レベルセンサ精度 : ±3mm</p> <p>1-3. 性能</p> <p>入力信号、アナログ信号及び停電・復電・ヘルス (装置が正常に動作していること) 信号をメールで送信ができる。 そのためデータ収集以外に遠隔監視装置の健全性を確認できる。</p> <p>1-4. 保有者</p> <p>有限会社インターフェース 代表取締役 秋山 公彦</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) この遠隔監視装置は高齢者の生活をやさしく見守る安否確認通報システムとして運用されている。そのため、短期間での製作・納入は可能。 開発・実用化に向けた課題・留意点 添付一般用安否確認通報システムパンフレット (PLT20120315) 参照方。 現在運用されている安否確認通報システムの用途を汚染水貯蔵タンク水位の遠隔監視に変更するだけなので、技術的課題は何もない。 留意点は放射線による機器のダメージがあるかどうかだけである。 その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) 機器を組み合わせでのローテック技術であるため、特許はなし。 	